



吸い殻拾い 駅前を美化

岐阜たばこ販売組合
岐阜市内の販売店でつく
る岐阜たばこ販売協同組合

(杉原實理事長)は31日、同市神田町の名鉄岐阜駅周辺で清掃活動を行い、たばこの吸い殻などのごみを拾い集め、街の環境美化に努めた。写真。

全国たばこ販売協同組合連合会の「全国統一美化週間(5日まで)」に合わせ、岐阜、高山、中津川の3組合が県内7カ所で毎年実施している。

岐阜の同組合員10人は飲食店街で、日本たばこ産業(JT)の社員3人とたばこの吸い殻や歩道に付着したガムなどを火ばさみで拾って歩いた。道路脇の植え込みの葉には焦げたような跡もあり、組合員は「ポイ捨ては火事につながる恐れもある」と、喫煙後は消火を確認するよう呼び掛けた。杉原理事長(73)は「指定喫煙場所で喫煙をするよう啓発していきたい」と話していた。